

併催学会のお知らせ



第10回手の造形手術研究会

開催日：2024年4月25日（木）13：10～15：10（第67回日本手外科学会学術集会 1日目）
会場：ハンズオン会場（奈良県コンベンションセンター 1階 会議室 103-104）

- ・事前申し込みは必要ありません。
- ・Web配信はありません。

【第1演題】13：10～14：10

「創外固定治療を組み込んだ手外科マイクロサージャリー治療
～『仕方なく創外固定』から『積極治療の一部としての創外固定』へ～」

講師：福島県立医科大学 外傷学講座 教授
新百合ヶ丘総合病院 外傷再建センター
工藤 俊哉 先生

教育研修単位

- ・日本整形外科学会 必須分野番号 2、10
- ・日本手外科学会

※単位申込は、ハンズオン会場前にて受け付けます。

【第2演題】14：10～15：10

「重症上肢外傷治療の実際」

講師：奈良県立医科大学 救急医学講座 准教授
前川 尚宜 先生

教育研修単位

- ・日本整形外科学会 必須分野番号 2、10
- ・日本手外科学会

※単位申込は、ハンズオン会場前にて受け付けます。

事務局：大阪掖済会病院手外科外傷マイクロサージャリーセンター
主催：静岡理工科大学手外科微小外科先端医工学

第6回手の造形手術ワークショップ

開催日：2024年4月25日（木）15：15～17：15（第67回日本手外科学会学術集会 1日目）
会場：ハンズオン会場（奈良県コンベンションセンター 1階 会議室107-108）

- 前半1時間は講演になります。事前申し込みは必要ありません。Web配信はありません。
※講演は参加自由ですが席に限りがあります。
- 後半1時間はワークショップ実技を行います。
※メールでのお申し込みが必要です。
mini.ilizarov.5@gmail.comにて予約10名を受け付けます。
※参加費は無料です。
※当日空きがあれば参加可能です。実技篇の見学は連絡なく可能です。

●前半講演 15：15～16：15

【第1演題】15：15～15：45（30分）

「手指関節内骨折、拘縮解離のための創外固定治療」

講師：大阪掖済会病院／静岡理科大学 手微小外科先端医工学
五谷 寛之 先生

【第2演題】15：45～16：15（30分）

「創外固定を駆使した手外傷治療の実際」

講師：奈良県立医科大学 救急医学講座 准教授
前川 尚宜 先生

●後半ワークショップ実技 16：15～17：15

ワークショップ実技篇

- 指用イリザロフ創外固定器を用いた手指骨延長
- 可動式 GH ヒンジ創外固定器を用いた PIP 関節内骨折治療
- 指用創外固定器を用いた関節拘縮授動術

ワークショップ講師：松浦 慎太郎、前川 尚宜、五谷 寛之、八木 寛久、
岡本幸太郎、佐々木康介、工藤 俊哉、大阪掖済会病院スタッフ

教育研修単位

- ・日本整形外科学会 必須分野番号 2、10
- ・日本手外科学会

※単位申込は、ハンズオン会場前にて受け付けます。

事務局：大阪掖済会病院手外科外傷マイクロサージャリーセンター

主催：静岡理科大学手外科微小外科先端医工学



第 62 回手の先天異常懇話会

日 程：4月25日（木） 10：40～11：40

会 場：第4会場

（奈良県コンベンションセンター 2階 会議室204）

テーマ：「裂手（裂足）」

司会・座長：国立成育医療研究センター整形外科 関 敦仁

札幌医科大学整形外科 射場 浩介

第62回手の先天異常懇話会では、昨年と同じく講演と症例検討会のハイブリッド開催となります。今回は“裂手（裂足）”をテーマとさせて頂きました。

今回は出来る限り多くのご経験豊富な医師に裂手手術のコツやピットフォールをご講演いただきます。

是非、多くの先生方にご参加いただき、活発な討議を重ねたいと存じます。

皆様のご参加をお待ちしております。

講師：

埼玉慈恵病院・埼玉手外科マイクロサージャリー研究所

京都大学大学院医学研究科形成外科学

仙台医療センター 形成外科

国立研究開発法人国立成育医療研究センター 整形外科

南大阪小児リハビリテーション病院 整形外科

福本 恵三 先生

齊藤 晋 先生

鳥谷部 莊八 先生

高木 岳彦 先生

川端 秀彦 先生

第 21 回神経因性疼痛研究会
(ランチョンセミナー 18)

日 時：4月26日(金) 12:00～13:00

会 場：第8会場(奈良県コンベンションセンター 会議室206)

座長：三上 容司(独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院 運動器センター)

講演 1

グリア細胞から見えてきた痛みの慢性化メカニズム

津田 誠(九州大学大学院 薬学研究院)

講演 2

手根管症候群の診断と治療

池口 良輔(京都大学 整形外科リハビリテーション科)

共催：日本臓器製薬



第36回日本ハンドセラピィ学会学術集会

日時：2024年4月27日（土）～28日（日）

会場：奈良県コンベンションセンター

参加費：医師無料（抄録集は別途1,000円（税込））

※御記帳をお願いしておりますので医師受付にお越しく下さい。

会長：蓬萊谷耕士（関西医科大学 リハビリテーション学部）

テーマ：知行合一～science and skill to smile～

第1日目：4月27日 9:30～18:30

【特別講演】

「手外科領域における私たちの取り組み」

金沢大学 保健学類 作業療法学専攻
多田 薫 先生

【海外招待講演】

「Is the Biomechanics in your toolbox?」

Mayo Clinic
Kai-Nan An 先生

【教育講演Ⅰ】

「未来を形づくる：ニューロ・ハンドセラピィの挑戦」

京都橘大学大学院 健康科学部研究科
兒玉 隆之 先生

【教育講演Ⅱ】

「私が大学院で学んだこと —臨床疑問を基礎研究で追求する—」

札幌徳洲会病院 整形外科外傷センター
井部 光滋 先生

【シンポジウムⅠ】 知と技の融合

【シンポジウムⅡ】 手と生活を紡ぐ～視点の多様性

【運動器エコーセミナー】

【表面筋電図セミナー】

第2日目：4月28日 9:00～13:30

【委員会報告（診療ガイドライン委員会／キャリアアップ委員会）】

【日本物理療法学会合同企画 物理療法セミナー】

【実践セミナー：実践知を高める】

【一般演題（口述・ポスター）】

ホームページ：<https://plaza.umin.ac.jp/jhts36hand/index.html>

お問合せ：jhts36hand@a-youume.jp



第 67 回日本手外科学会スモールセミナー

日 時：2024 年 4 月 26 日（金）14：00～15：30（90 分）

場 所：奈良県コンベンションセンター or マリオットホテル奈良（事務局ご検討中）

趣 旨：Accurio ユーザー MTG（スクール形式 最大 40 名程度）

セッションタイトル

- 日本語版「上肢 3 次元矯正の現在地」
- 英語版「Current status of 3-D deformity correction of the upper extremity」

単位申請あり

- 日整会 「02 外傷性疾患（スポーツ障害を含む）」
「10 手関節・手疾患（外傷を含む）」
- 日手会

世話人：ベルランド総合病院 副院長

大阪大学 整形外科 特任准教授、MEI センター 招へい教授

村瀬 剛 先生

座 長：大阪大学大学院 医学系研究科 運動器バイオマテリアル学／整形外科 准教授

岡 久仁洋 先生

14：00～15：00 ご講演（30 分×2 演題）※単位申請対象のご講演

「ここまでできる、三次元変形矯正システム」

大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学（整形外科）助教

宮村 聡 先生

「上肢変形矯正システムの使用経験 一般利用者からみた要点と盲点」

北海道大学大学院医学研究院 整形外科学教室 助教

遠藤 健 先生

—ブレイクタイム—

15：00～15：30 症例ご提示（15 分×2 演題）

大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学（整形外科）医員

塩出 亮哉 先生

兵庫県立尼崎総合医療センター 整形外科部長

松本 泰一 先生